

- 1975 東京藝術大学大学院修了
- 1976 日本金工作家協会奨励賞
- 1977 日本現代工芸美術展 現代工芸賞、読売新聞社賞、
日本テレビ賞、広島県美展大賞
- 1978 日本現代工芸美術展 会員賞
- 1988 日本現代工芸美術展 審査員
- 1989 日本現代工芸美術展 東京都教育委員会賞
- 1992 ヒロシマ・アート・グラント '92 受賞
- 1994 日展特選受賞
- 1995 日本現代工芸美術展 審査員
- 1998 日展特選受賞
- 2002 日展 審査員
- 個展 22 回
- 日展会員、日本現代工芸美術展評議員
- 1994 年 4 月着任

2001 年、21 世紀最初の 8 月 6 日に被爆建物において、被爆体験の無い世代の被爆体験の継承、世界平和のアピールの実験的考察を特定研究の発表として実施した。この研究発表は日展、日本現代工芸美術展において発表し続けた被爆地ヒロシマをテーマとした作品群がベースになっている。被爆地ヒロシマで創作活動を続けている作家の使命だと認識した研究発表である。

「消えた街かど」

被爆地広島をテーマに、原爆で亡くなった私の伯母弘子の魂の鎮魂を願って制作した作品である。都市の街路をビジュアル的に構成し、原爆投下時の衝撃を光の矢として表現している。原爆投下の爆心地付近では、町内すべての住民が死亡し、現在では存在していない町が多くある。人々が行き交ったあの街角は今どこにあるのだろう？



《消えた街かど》

1999

銅板、真鍮（7：3）、ステンレススティール、アルミニウム、
アクリル塗料 彫金の打ち出し技法、鍍金の絞り加工

W110 × D10 × H160cm